

14.3
60

第十九回
第二十回
第二十二回
帝國議會小史

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始





第十九、二十、帝國議會小史

諸君余、衆議院議員トシテ曩ニハ支那征討ノ時ニ際シ戰費ノ支出戰後ノ經營ヲ
協贊シ今ヤ亦タ露國征討ノ政務ニ參與スルヲ得タルハ實ニ光榮ト云ハサルヘ
ラス先ツ余ヲ推擇セラレタル諸君ニ感謝セント欲ス
帝國議會小史并ニ^{第十九、二十回}帝國議會小史ハ余ノ議會ノ經過ヲ記述シ以テ諸君ニ
呈シタルモノ茲ニ更ニ爾後三回議會ノ經過ヲ記述シ諸君ノ依テ以テ議會ノ形勢
ヲ察セラル、ノ資ニ供セントス

第十九回議會ハ露國ト滿洲問題ニテ頻リニ交渉ヲ重ヌルノ日ニ開カレ第二十回
及ヒ第二十一回ハ交戦ノ後ニ開カレタリ余ハ第二十回及ヒ第二十一回ニ於テ克
ク舉國一致ノ實ヲ顯シタルヲ喜フト共ニ第十九回ノ黨派ノ爲メニ左右セラレタ
ルヲ惜マサル能ハス

第十九回議會ハ明治三十六年十二月五日ニ召集セラレ貴族院ハ議長任滿チテ公
爵徳川家達氏之ニ任命セラレ衆議院ハ議長ノ補缺トシテ進歩黨員河野廣中氏ヲ
撰舉シ兩院ハ各自席次部屬ヲ撰定シ全院委員長各常任委員ヲ撰舉シ同十日車駕
親臨シテ開院ノ式ヲ舉ケサセラル其勅語ニ曰ク

明治
38 年 10
内交

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及ヒ衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ而シテ東洋ノ平
和ト帝國ノ利權ヲ保持スル爲メ緊急ナル國際ノ交渉ニ關シテハ國務大臣ヲシ
テ慎重其事ニ當ラシム

朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十七年度ノ豫算ハ
各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ附セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕
カ望ム所ニ副ヘヨ

此優渥ナル勅語ニ對シ奉リ河野議長ハ二三黨派ノ重立チタルモノニ煽動セラレ
密ニ一ノ奉答文ヲ作り慣例ヲ無視シ議場ヲ喘着シ之ヲ通過セシメタレハ其翌貴
族院ハ停會セラレ衆議院ハ解散セラレタリ

第十九回議會ニシテ平穩ニ經過セシモノトセハ露國トノ戰端ハ實ニ會期ノ中央
ノ起リタル筈ナルニ河野議長ノ此不敬無禮ヲ敢テシタル爲メ國民代表ノ任ニ當
ルモノヲシテ征露當初ノ經畫ニ參與スルヲ得サラシメタルハ實ニ歎息ニ耐エサ
ルナリ

第二十回議會ハ總撰舉後ノ特別議會ナリ現ニ日露戰爭ノ開始セラレタルヲ以テ
貴族衆議兩院トモ速カニ議員ノ會同ヲ爲シタリ是レ實ニ明治三十七年三月十八

日ニシテ總撰舉後僅ニ十有八日ニ過キサリキ

第二十回議會ノ召集當日衆議院ハ議長副議長ヲ撰舉セシニ議長ニハ政友會員松
田正久氏副議長ニハ進歩黨員箕浦勝人氏之ニ當選シタリ

貴族衆議兩院ハ各自席次部屬ヲ籤定シ兩院ノ成立ヲ告クルヤ即チ三月二十日車
駕辱クモ貴族院ニ親臨シテ左ノ詔勅ヲ賜ヘリ

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ朕カ政府ヲシテ露國ト交渉セ
シメタリ而モ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ヲ缺キ遂ニ干戈相見ルニ至レルハ
朕カ憾トスル所ナリ然レトモ事既ニ此ニ至ル交戦ノ目的ヲ達セスンハ止ムヘ
カラス今ヤ朕カ軍人ハ艱苦ヲ排シテ其忠勇ヲ致セリ朕ハ帝國臣民カ協同一致
以テ國光ヲ宣揚センコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム
卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

於是乎兩院各奉答シ又全院委員長各常任委員ヲ撰舉シタリ
以後貴族衆議兩院ハ引續キ會議セシニ二十三日衆議院ニテ桂曾禰小村三大臣ノ

演說アリ今左ニ小村外務大臣ノ演說ヲ掲ク

諸君茲ニ本院ニ向ツテ日露交渉ノ經過ヲ御報道スルノハ本大臣ノ光榮ヲ御座リマス
此交渉ノ事柄ハ三箇年ニ渉リマシテ頗ル複雑ヲ極メテ居リマスガ簡單ニ申上ケマス明治三十三年ノ夏義和團事變ナルモノ北清ニ起リ列國ハ其使臣及在留民ヲ救護スルノ目的ヲ以テ兵ヲ直隸ニ送り共同一致ノ行動ヲ執リツ、アルニ際シ露國ハ大兵ヲ滿洲ニ進メ其全部ヲ占領シマシタ其當時露國ハ單ニ清國ノ叛徒ヲ鎮壓スルタメテ決シテ征服ノ目的ニアラズト稱シマシタ滿洲ニ於ケル清國ノ主權及領土ハ飽マテ其尊重スル處ナルコトヲ屢々宣言シタルニ拘ラズ露國ハ清國政府ニ迫リテ滿洲ニ於ケル清國ノ主權ヲ侵シ并ニ列國條約上ノ權利ト相容レサル性質ノ條約ヲ締結セシメント致シマシタコトハ數回ニ及ビマシタ帝國政府ハ其部度屢々清國及ビ露國政府ニ向ツテ警告ヲ加ヘマシタ遂ニ明治三十五年四月ニ至リテ露國ハ滿洲還附ノ條約ヲ締結致シマシタ其後露國ハ滿洲還附ノ準備ニ着手致シマシテ其一部ハ既ニ實行政シマシタガ昨年四月ニ至リマシテ俄カニ其態度ヲ一變シ音ニ滿洲行政權還附及撤兵ヲ行フコトヲ中止シタルノミナラズ清國ニ向ツテ新ニ種々ノ要求ヲ提出シタル始末ヲ御座イマス斯ノ如ク露國ノ政策ニ激變ヲ來シタルハ豫テ露國當路者間ニ議論ガ二派ニ分レテ居リマシタ滿洲ノ永久占領ヲ主張スル一派ノ意見ガ其勝ヲ制シタ結果デアラウト信ジテ居リマス韓國ノ獨立及領土保全ノ二字ハ帝國ノ康寧ト安全ノタメ緊要缺グベカラザル事ヲ御座リマシテ實ニ我帝國年來ノ國是デアリマス若シ露國ガ滿洲ヲ併吞致スト云フコトニナリマスレハ朝鮮ノ存在ハ絶ヘズ迫害ヲ蒙リマシテ又東洋ノ平和ヲ確立スルコトモ出來ナクナリマス故ニ帝國政府ハ深ク國家ノ前途ヲ慮ルニ於テ日露兩國ノ利益ノ

接觸點タル滿韓兩地ニ於ケル交互ノ利益ヲ友誼的ニ調理シ將來兩國間ニ衝突ノ起ル可キ原因ヲ一掃スルハ東洋平和ヲ強固ニシ帝國ノ權利利益ヲ確保スル所以ナルヲ思ヒ之ガ爲メ露國ト交渉ヲ開クコトヲ廟議一決致シマシタ依リテ昨年七月二十八日在露公使ニ電訓シマシテ露國政府ニ向ツテ我希望ノアル處ヲ披瀝シ其贊同ヲ求メシメタルニ露國政府モ欣然之ニ同意ヲ表シマシテ露國外務大臣ハ本件ニ付キ談判開始ノ勅裁ヲ得タル旨ヲ回答致シマシタ因テ八月十二日談判ノ基礎トナルベキ條件ヲ露國政府へ提出シマシタ其條件ノ主ナルモノヲ擧ケレバ

第一 清韓兩國ノ獨立及領土保全ヲ尊重スルコトヲ相互ニ約スル事

第二 清韓兩國ニ於ケル各國商業及工業ノ爲メ機會均等ノ主義ヲ保持スルコトヲ相互ニ約スルコト

第三 露國ハ韓國ニ於ケル日本ノ優越ナル利益ヲ承認シ日本ハ滿洲ニ於ケル鐵道經營ニ付キ露國ノ特ナル利益ヲ求ムルコト併セテ第一項第二項ノ主義ニ抵觸セザル限り各自ノ利益ヲ保護スルタメ必要ノ處置ヲ執リ得ルコトヲ相互ニ承認スルコト

第四 韓國ニ於ケル改革及施政改善ノタメ助言及助力ヲ與フルハ日本ノ專權ニ屬スルコトヲ露國ニ於テ承認スルコト

第五 今回日本ガ韓國鐵道ヲ滿洲南部ニ延長シ東清鐵道及山海關營口間鐵道ト連結セシメントスルコトアルモ之ヲ阻害セザルコトヲ露國ニ於テ約スルコト

露國外務大臣ハ此提案ヲ受取マシテヨリ數日ヲ經テ本件商議ヲ東京ニ移サンコトヲ突然發議シマシタ帝國政府ハ本件商議ヲ露京ニ於テ直接露國當局者ト繼續スルコトヲ事ノ進行上最モ便益

ト考ヘラレタノミナラズ丁度其當時露國ハ極東ニ於ケル行政組織ヲ變更致シマシテ新ニ極東總督ヲ置キマシタニヨリ露國政府ニ向ツテ商議地移轉ノ事ニ關シマシテハ再三反對致シマシタケレトモ露國外務大臣ハ皇帝ノ外遊等ナ理由ト致シマシテ之ヲ容レマセン又我提議ヲ以テ大體上談判ノ基礎ト致サンコトニ付キマシテ露國政府ノ同意ヲ求メマシタノニ露國政府ハ我提議ト露國ヨリ提出スベキ對案トナ合セテ之ヲ談判ノ基礎ト致スコトニ同意ヲ致シマシタカラ帝國政府ニ於キマシテモ此上談判ノ開始ヲ遷延セシムルヲ不利益ト認メマシテ遂ニ東京ニ談判ヲ移スコトニ同意ヲ致シマシタ同時ニ露國ノ對案ナルモノヲ可成速カニ提出サレンコトヲ要望シマシタガ漸ク十月三日ニ至リマシテ露國ノ對案ヲ見マスノニ露國ハ韓國ノ獨立及領土保全ヲ尊重スルコトヲ約スルコトハ異議ハ御座リマセンケレトモ此約諾ヲ清國ニ及ボスコトヲ拒ミ又清國ニ於ケル各國ノ商業工業上ノタメ機會均等ノ主旨ヲ認メルコトヲ肯セザルノミナラズ滿洲及其沿岸ヲ以テ全然日本ノ利益範圍外タルコトヲ日本ニ於テ承認センコトヲ求メタル次第御座リマス又韓國ノ事ニ關シマシテハ韓國ニ於ケル我自由行動權ニ對シ種々ノ制限ヲ附シ日本ノ利益保護上必要ノ場合ニ日本ヨリ出兵ノ權アルヲ認メマシタケレトモ出兵ヲ致シマス場合ニハ豫メ露國ニ知照スルヲ要シ又韓國領土ノ一部タリトモ軍略上ノ目的ニ使用スルコトヲ禁シ又北緯三十九度以北即チ朝鮮領土ノ三分ノ一以上ニ當リマス地域ヲ以テ中立地帶トナサンコトヲ提議致シマシタ然ルニ滿洲ニ於ケル清國ノ主權及領土保全ノ維持ハ韓國ノ存立ヲ保持致シマスル爲メ絕對的ニ必要ヲ御座リマス是等ノ點ニ關シテハ飽ク迄我主張ヲ維持スルコトニ決シマシテ又其他韓國ノ事ニ關シマシテモ一々必要ノ修正意見ヲ確定シマシテ例ヘバ日本ニテ韓國へ出兵スル場合

ハ何等ノ制限ヲモ附セザルコト又若シ中立地帶ヲ設ケルコトニ致シマスレハ其中立地帶ハ滿韓境界ノ兩側ニ跨リマシテ一定ノ距離ヲ劃シマシテ南北各五十基米突ニ亘ル地域ヲ以テ中立地帶トナスコトヲ提議スルコトニ極メマシテ十月六日以來露國公使ト數回會見ヲ致シマシテ反覆辯論ヲ重子マシタルガ結果或一部ハ我修正ヲ容レマシタルモ根本ノ主義ニ付キマシテハ到底意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ナカツタノ御座リマス故ニ政府ハ十月三十日ニ一ノ確定修正案ヲ提出シマシテ露國政府ノ再考ヲ促シタ次第御座リマス其後在露公使ヲシテ再三再四露國ノ回答ヲ促サシメマシタケレドモ遷延ニ遷延ヲ重子マシテ漸ク十二月ノ十一日ニ回答ニ接シマシタ此回答ガ即チ露國第二回對案ヲ御座リマス

帝國政府ハ斯ノ如キ露國回答ノ遷延シマシタノヲ深ク遺憾ト致シマシタガ其回答ノ内容ヲ見ルニ及ビマシテ尙一層ノ失望ヲ感シマシタナセト申シマスルト露國ハ第二回ノ對案ニ於キマシテ滿洲ニ關スル條項ヲ全然削除シ本協商ヲ以テ單ニ韓國ノミニ關スルコトトシ而シテ又韓國ニ於テ北緯三十九度以上ニ中立地帶ヲ設ケルコト又韓國ノ領土ヲ軍略上ノ目的ニ使用セザルコトニ付キマシテハ矢張現主張ヲ其儘維持シタ譯デアリマス然ルニ本協商ノ目的ハ曩ニ述ベタ如ク日露兩國利益ノ接觸點ニ於テ相互ノ關係ヲ明カニ致シマシテ將來衝突ノ原因ヲ一掃スルコトヲ期シマシタル譯テ御座ヒマスカラ若シ滿洲ヲ協商ノ範圍外ニ置キマシタルトキニハ問題ノ一半ハ依然解決ヲ見ズシテ其儘存續致シマシテ最初帝國政府ガ交渉ヲ開キマシタル趣旨ニ副ハナイ次第御座ヒマス故ニ此點ニ付キマシテハ更ニ露國政府ノ再考ヲ促シ又韓國ニ關シマシテハ朝鮮領土使用ニ關スル制限ヲ韓國ニモ亦之ヲ設ケザルコトヲ至當ト認メマシタカラ中立地帶ニ關ス

ル條項ハ全部削除スルコトヲ提議致シマシタ此提議ニ對シマシテハ露國ハ一月六日ニ回答ヲ與ヘマシタ此回答ノ要旨ヲ述ベマスレハ韓國ニ關スル露國ノ主張ハ矢張其儘維持シマシテ而シテ韓國ニ關スル露國ノ要求ヲ我政府ニ於テ承認スルコトヲ條件ト致シ滿洲ニ於テハ日本又ハ其他ノ國ガ清國トノ現行條約ノ下ニ獲得シマシタル權利及特權ノ享有ヲ阻害セザルベキコトヲ承認スルト云フ議ヲ致シマシタ而シテ滿洲ニ於ケル領土保全ニ關シテハ何等ノ規定モ設ケナイノテ御座リマスル故ニ露國ガ滿洲ニ於ケル我要求ノ一部ヲ容レタ如クテ御座ヒマスケレトモ其實韓國ノ事ニ關シテハ到底我ニ於テ同意ノ出來ナイ事柄ヲ以テ條件ト致シマスシ又縱令ハ條約上ノ權利ヲ尊重スルコトヲ約諾致シマシテモ滿洲ニ於ケル領土保全ヲ維持セヌ以上ハ此約諾モ實際ニ於テ何等ノ効力モナイノテ御座イマスカラ帝國政府ハ是非共露國ヲシテ滿洲ニ於ケル清國ノ領土保全ヲ尊重スルコトヲ約諾セシメ又韓國ノ事ニ關シテハ讓歩ノ餘地ガ御座ヘマセンカラ飽ク迄我主張ヲ貫クコトニ決シマシテ一月十三日露國政府ニ向テ更ニ再考ヲ求メタル次第テ御座ヘマス其後在露公使ヲシテ再三回答ヲ促サシメタケレトモ露國ハ言ヲ左右ニ託シテ更ニ回答ヲ與ヘザルノミナラズ一月三十一日ニ至リテモ其回答ス可キ期日スラ指定シナカツタ次第テ御座ヘマス

帝國政府ハ終始和協ノ精神ヲ以テ露國ニ接シ露國ノ提議ハ帝國ノ緊要ナル利益ト抵觸セザル限リ可成之ヲ容レ速カニ時局解決センコトヲ期シマシタケレトモ露國ハ回答ヲ遲延シ到底妥協ノ望ナキ修正ヲ提出シテ時局ヲシテ益々困難ナラシメタルノミナラズ一方ニ於テハ類リニ平和ヲ稱道シ和協ノ態度ヲ粧ヒツ、他ノ一方ニ於テハ効力ニ海陸ノ兵備ヲ盛ニシ其有力ナル軍艦ノ如

キハ殆ンド悉ク東洋ニ派遣セラレ又數萬ノ兵ハ滿洲地方及其附近ニ増遣セラレ加フルニ兵器彈藥糧食石炭ノ買入輸送等露國ガ誠意誠心和協ノ意ナク武力ヲ以テ吾々ヲ屈從セシメンコトヲ期シタコトハ爭フベカラザル事實トナリマシテ此上空シク時日ヲ經過スルニ於テハ我邦ハ到底恢復ノ出來ナイ位置ニ立至ルハ必然ノ勢トナリマシタ帝國政府ハ衷心平和ヲ思フニ切實ナルモ事茲ニ至リマシテハ最早一日モ緩フスルコト能ハザルガ故ニ遂ニ露國ノ交涉斷絶シ自衛ノタメ必要ノ處置ヲ採ルコトニ廟議一決シマシテ即チ二月五日ヲ以テ在露國公使ニ電報ヲ發シマシテ帝國政府ハ日露協商ニ關スル交涉ヲ斷絶シ自ラ侵迫ヲ蒙リタル位置ヲ防衛シ併セテ帝國ノ既得權及正當ノ利益ヲ擁護スルタメ獨立ノ行動ヲ取ル可キコトヲ露國政府ニ通告スベキ旨ヲ訓令致シマシタ在露公使ハ其翌日二月六日露國政府ニ向ツテ此通告ヲ爲シタル次第テ御座リマス日露交渉ノ顛末ハ概畧此通りテ御座リマス

二十五日衆議院ハ左ノ決議ヲナセリ

我カ忠勇猛銳ナル帝國艦隊ハ連戰連捷敵國ヲシテ震懾セシメ以テ皇武ヲ輝揚シ方ニ海上ヲ掃攘シ偉大ノ勳功ヲ樹ツ是レ國民ノ深ク感謝スル處ナリ衆議院ハ茲ニ之ヲ言明シテ誠意ヲ表ス

二十九日衆議院ハ更ニ左ノ決議ヲ爲セリ

征露ノ 聖詔ハ公明正大專ラ東洋ノ平和ヲ軫念シ給フニ出ツ我帝國ノ臣民タルモノ孰レカ鞠躬盡瘁以テ

聖旨ニ獎勵セサランヤ本院ハ即國民報國ノ誠意ヲ體シ政府求ムル處ノ軍資ヲ
辨給シ以テ戰費ニ缺クル處ナカラシムコトヲ圖レリ惟フニ今ヤ戰端僅カニ開ケ
我艦隊ノ奏効偉大ナルモノアリト雖全局ノ大捷ヲ收メ東洋ノ平和ヲ克復スル
ハ前途猶遠ニ屬ス其必要ノ戰費ノ如キハ本院ノ固ヨリ吝マサル所ナリ本院
ハ切ニ望ム内閣大臣ハ宏謨ヲ翼賛シ運籌畫策能ク機宜ニ適シ速カニ戡定ノ功
ヲ致サンコトヲ茲ニ特ニ決議シテ國民意志ノアル所ヲ表明ス

此日ハ第二十回帝國議會最終ノ日ニ當リ林田書記官長ハ例ニ依リ本期議會ノ經
過ヲ報告シタリ即チ第二十回議會ノ衆議院ニ於ケル議案總數及其結果ハ

一 政府提出案

二十六件

總テ可決ス

一 上奏案

一件

一 建議案

二件

一 決議案

三件

總テ可決ス

一 重要動議

二件

內一件可決一件否決

以上政府提出案二十六件ハ貴族院ニテモ亦可決シタルヲ以テ共ニ成案トナレリ
其內三件ヲ豫算案トス

一 臨時軍事費豫算案

本案ニ計上スル金高ハ歳入出共ニ參億八千萬圓ニシテ歳出ハ本年四月以後ノ軍費ナリトス歳
入ハ之ヲ第一目公債募集債券募集一時借入貳億八千萬圓第二目一般會計繰入政府案七千五百
萬圓衆議院之ヲ七千萬圓ト修正シ第三目政府案特別會計繰入貳千五百萬圓衆議院之ヲ參千萬
圓ト修正シタリ

一 明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案

本案ニ計上スル歳入金高ハ政府案ハ六千八百參拾七萬參千四百四拾圓ナリシガ衆議院ハ之ヲ
六千貳百貳拾萬千八百七拾九圓ト修正シタリ
此歳入金高ハ各種増稅印紙收入増加專賣局益金増加ヲ見込ミタルモノニシテ衆議院ノ修正シ
タル理由ハ非常特別稅法案ヲ修正シ專賣局益金ヲ増加シタルニ由レリ

一 明治三十七年特別會計歳入歳出豫算案

此案ハ煙草製造官營煙草專賣ノ收入支出ヲ計上シタルモノニシテ衆議院ニテ此案修正ノ結果
ハ前ニ顯ハスガ如ク即チ煙草製造官營其他ノ結果ハ本年度ニ於テ八百四拾七萬六千貳百八拾
五圓ノ國庫收入ヲ増加スル答ナリトス

四件ヲ事後承諾ヲ求ムルノ案トス即チ

一 明治三十六年勅令第二百九十一號

同年十二月二十八日臨時軍備補充ノタメ支出ヲ要スルヲ以テ特別會計資金ヲ繰替ヘ使用シ並ニ國庫債券ヲ發行スルコト京釜鐵道速成ノ必要アルヲ以テ同會社補助ヲ契約スルコトヲ規定シタルモノナリ

一 明治三十七年勅令第十號

同年一月二十二日發布ノ防禦海面令是レナリ

一 明治三十七年勅令第十九號

同年二月五日發布ノ軍事郵便物ニ關スル件是レナリ

一 臨時事件費豫算外支出ノ件

是レ明治三十六年勅令第二百九十一號ニテ規定シタルモノニ基キ臨時ニ支出シタルモノニシテ金高ハ總ベテ壹億五千六百貳拾貳萬八千九百貳拾九圓七拾七錢壹厘トス内大藏省所管ニ係ルモノ凡貳拾五萬七千八百九拾參圓九拾參錢アリ其餘ヲ海陸軍費トス此軍費中壹億萬圓ハ國庫債券募集ニテ貳千五百萬圓ハ特別會計資金繰替ニテ其餘ハ一時借入ニテ支辨シタリ此事後承諾案ト前ニ載セタル臨時軍事費豫算案ヲ合算スルトキハ即チ征露事件發生以前ノ準備ヨリ本年年末マデノ軍費全額五億參千六百萬圓内外ナルヲ知ル可シ

十九件ヲ法律案トス即チ

一 臨時費支辨ニ關スル法律案

此法律案ハ臨時軍事費豫算案歳入第一目貳億八千萬圓支辨ノ方法ヲ規定シタルモノトス

一 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計法案

此法律案ハ臨時軍事費ヲ特別會計トスベキコトヲ規定シタルモノトス

一 非常特別稅法案

此法律案ハ衆議院ノ修正シタル上ニ於テ兩院ヲ通過シタリ明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案ニ計上セシ歳入金高ヨリ專賣局益金ヲ差引シタル殘餘ハ此法律案ノ結果トシテ政府ニ増徴セララル、モノ而シテ該追加案ノ各項金高ニ増減アリ乃至削除セラレタルハ衆議院修正ノ結果ナリトス

衆議院ハ此法律案ノ末ニ特ニ一條ヲ置キ第二十六條平和克復ニ至リタルトキハ其翌年末日限リ本法ヲ廢止スト定メタリ

一 醫藥用工業用酒精戻稅法中改正法律案

一 明治三十四年法律第十號中改正法律案

此案ハ酒類ノ増徴ニ伴ヒ外國輸出酒類等ニ關スル戻稅法ヲ改正シタルモノトス

一 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

一 醬油稅則中改正法律案

此案ハ自家用醬油稅法中改正法律案ノ新ニ自家用一石未滿ノ醬油製造ニ課稅シタルタメ從ツテ改正シタルモノトス

- 一 自家用醬油稅法中改正法律案
- 一 關稅定率法改正法律案
- 一 輸入原料砂糖戻稅中改正法律案
- 一 地租增徴ニ關スル法律案
- 一 沖繩縣滯納舊稅延納法案
- 一 煙草專賣法案

此案ハ土地一筆毎ニ地租ヲ算出スルノ規制ヲ改メ納稅人毎ノ地價合計ニ依リ地租ヲ算出スルコトトナシタルモノナリ

此案ハ煙草製造ヲ官營トシタルモノニシテ政府原案ハ現在煙草製造人ニ交付スルニ其所得額ノ三分分ヲ以テスル積ナリシガ衆議院ハ之ヲ其實上高ノ二割ヲ交付スルコトト修正シタリ

- 一 臺灣事業公債中改正法律案
- 一 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案
- 一 社名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律案
- 一 貯蓄債券法律案

兩院ニテ修正シ成立シタルモノト大要ハ勸業銀行ヲシテ無記名利札附券面五圓ノ債券ヲ發行セシメ二十年以内毎年一回抽籤ニテ割増金附償還スルモノトシ其回收金ハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルモノナリ

一 軍人恩給法中改正法律案

此外尙ホ決議案ニ東京府撰出衆議院議員秋山定輔氏ノ其所管二六新聞記事ニ關シ同氏ノ處決ヲ促シタルモノアリ建議案ノ可決シタルモノニ産業ニ關スルモノ及陸海軍兵士ノ家族救恤ニ關スルモノ、二件アリタリ
如此ニシテ第二十回議會ハ終リヲ告ケタレハ三月三十日貴族院ニテ閉院式アリ桂總理大臣代ツテ勅語ヲ朗讀シタリ左ノ如シ

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等軍國ノ急務ニ關シ克ク朕カ意ヲ對揚シテ協贊ノ任ヲ完フセルノ勞ヲ嘉獎ス

第二十一回議會ハ明治三十七年十一月二十八日ニ召集セラレ貴族衆議兩院ハ各自席次部屬ヲ籤定シ三十日開院ノ式ヲ行ハセラル勅語ハ左ノ如シ

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シ刻下ノ急要ナル臨時軍事費支辨ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十八年度豫算案及法律案ト共ニ之ヲ提出セシム
朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ今ヤ益々其勇武ヲ發揮シテ戰局漸次其歩ヲ進ム

朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ終局ノ目的ヲ達センコトヲ期ス卿等克ク朕カ旨ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サンコトヲ努メヨ

兩院ハ直チニ奏答ヲ奉リ全院委員長各常任委員ヲ撰擧ス但シ衆議院ハ政友進歩兩派ノ連合シテ常任委員悉ク之ヲ占メ尋非テ更ニ席次ヲ變更シ之ヲ黨派別ニ定メタリ

爾來兩院トモ議事ヲ開始シタリ十二月三日衆議院ハ先ツ一ノ慰問狀ヲ決シ陸海兩軍大臣ハ各之ニ挨拶シ尋非テ桂總理大臣ノ演說會禰大藏大臣ノ説明アリタリ

滿洲軍ニ對スルモノ

我カ滿洲軍ハ遠征萬里懸軍十月銳ヲ摧キ堅ヲ拔キ激戰奮鬪茲ニ數十回兵氣益々旺ニシテ我カ武維レ揚レリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時那塞ニ際シテ勞勦更ニ大ナラン衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ狀ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

帝國聯合艦隊ニ對スルモノ

我カ帝國聯合艦隊ハ遠征以來茲ニ十閱月常ニ風濤ノ間ニ立チ萬死ヲ冒シ百難ヲ排シテ旅順ノ封鎖ヲ全フシ今ヤ敵艦ヲシテ殄滅ニ頻セシム其功洵ニ偉ナリ是レ國民感激シテ措カサル所ナリ時那塞ニ際シテ勞勦更ニ大ナラム衆議院ハ

特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

十二月十七日衆議院ハ左ノ決議ヲ爲セリ

政府カ株式會社百三十銀行ノ破綻ヲ救済スル爲メ金六百萬圓ヲ支出シタルハ不當ノ措置ナリト認ム

是レ所謂百三十銀行事件ニ對スルモノニシテ一時黨派者流ハ之ヲ以テ内閣ノ信任ヲ問ヒ或ハ彈劾スルニ至ラントスルノ口氣ナリシモ終ニ速記録中ニ其事實ヲ記スルニ過キササルコト、ナレリ

明治三十八年一月六日衆議院ハ旅順ノ開城ヲ祝シ且ツ謝スル爲メ特ニ開會シテ左ノ上奏決議案ヲ討議決定セリ

上奏案

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス伏シテ惟ルニ宣戰ノ大詔煥發セラレテヨリ未タ一載ナラス 皇帥ノ向フ所戰ヘハ勝チ攻ムレハ取ル已ニ遼陽敵ノ有ニアラスシテ兵氣遠ク朔北ノ野ニ振ヒ鐵壁ノ旅順今ヤ我手ニ歸シテ敵艦全ク遼東ノ海ニ滅ヒ更ニ戰局ノ一大發展ヲ見ル是レ陛下ノ睿武ニ頼ルニ非サレハ曷ソ能ク此ノ振古未曾有ノ偉功ヲ奏スルヲ得ムヤ惟ルニ

陛下宵衣旰食軍國ノ事ニ軫念アラセ給フノ深厚ナル億兆ノ具瞻スル所臣等感激ノ至リニ堪ヘス願フニ洗兵振旅ノ期前途尙遠ナリ臣等豈鞠躬努力以テ聖明ニ奉答スルヲ期セザランヤ捷報荐リニ至リテ拊舞已ム靡ク茲ニ賀表ヲ上リ敢テ赤誠ヲ披ク衆議院議長臣松田正久誠恐誠惶謹ミ奏ス

決議案

旅順ノ要塞タル天險ヲ利シ人工ヲ極メ防備ノ堅世界無比ト稱ス而シテ勁敵ノ全力ヲ竭シテ死守スル所タリ我カ旅順攻圍軍ハ帝國聯合艦隊ト相待テ奮戦力闘茲ニ數閱月陸ニ堅壘ヲ拔キ海ニ巨艦ヲ滅シ今ヤ敵ヲシテ策盡キ力窮マリ城ヲ開キテ降ヲ乞ハシムルニ至レリ是レニ我カ將校士卒ノ忠勇堅忍克ク其任務ヲ全フセシニ由ラスンハアラス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ攻圍軍ノ功勞ヲ感謝ス

本期議會ニハ法律案豫算案其他事後承諾ノ件等ノ重大ナルモノ比較上甚タ多數ナリシト雖モ概シテ平穩ニ迅速ニ衆議院ヲ通過シタリ而シテ却テ議場ノ紛議ヲ生シタルモノハ一ヲ商業會議所法中改正法律案(井上角五郎君提出)トス商業會議所議員撰舉ノ方法ヲ改正セントスルモノニシテ政友黨ハ黨議ニテ反對シ其他進歩黨中立者ハ賛成シ爲メニ特別審査委員會ハ否決シタレトモ本議場ハ復活可決

シタリニテ裁判所構成法中改正法律案トス其案兩様アリ政友會ノ提出シタルハ稍々廣ク進歩黨ノ提出シタルモノハ稍々狹ク共ニ區裁判所ノ權限ヲ擴張セントシタルモノニシテ審査委員會ハ政友會ノ勝ニ歸シ本議場ハ進歩黨ノ利ニ終レリ

三ハ政府提出裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ニシテ左ノ如シ
明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中大阪控訴院管轄若狹越前加賀能登越中ノ國ヲ名古屋控訴院ノ管轄ニ備前備中美作因幡伯耆ノ國ヲ廣島控訴院ノ管轄ニ變更ス

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年三月三十一日以前ニ於テ岡山鳥取福井金澤及富山ノ各地方裁判所ノ爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ大阪控訴院之ヲ管轄ス

大坂市ハ市長吏員上京シテ同府撰出議員ト共ニ反對ヲ試ミ廣島名古屋兩市ハ對抗シテ賛成運動セシカ終ニ原案ノ通過ヲ見タリ

此會期中伯爵副島種臣陸軍中將松村務本兩君ノ薨去セラル、アリ衆議院ハ之ニ追悼ノ意ヲ表シタリ

明治三十四年度歲入歲出總決算ハ衆議院決算委員會ノ之ヲ審査スルニ當リ曩時

第七師團ノ兵營ヲ旭川ニ建築スルニ對シ當局ニ不法ノ處爲アリシトシテ大ニ非難ヲ試ミ委員會ハ之ヲ上奏センコトヲ欲シ二月二十八日ノ議場ニ提出セシガ多數ノ賛成ナク終ニ立消ニ歸セリ之ヲ以テ兩院トモニ議事ヲ了リ三月一日貴族院ニ於テ例ニ由リ閉院式ヲ舉ケラレ左ノ勅語ヲ賜フ

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精急要ナル議案ヲ議了シ以テ朕カ意ヲ對揚シ協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉獎ス

衆議院ノ將ニ閉會ヲ告ケントスルヤ書記官長ハ議會ノ成績ヲ報告シタリ其ノ衆議院ニ於ケルモノハ

一 政府提出案 八十九件

内八十七件可決シ一件撤回ス外ニ決算四件アリ亦タ之ヲ是認ス

一 衆議院提出法律案 五十件

内八件ハ兩院ヲ通過シ外ニ貴族院提出法律案一件モ亦タ兩院ヲ通過ス

一 上奏案 二件

一 建議案 十六件

一 決議案并ニ重要動議 八件

一 請願報告 十一件

以上ハ共ニ衆議院ノ提出ニシテ可決シタルモノ

別ニ議員資格審査ノ問題アリシモ之ヲ是認セス

政府提出案ハ其内十二件ヲ豫算案トス

一 明治三十八年度歳入歳出總豫算案

總豫算案ニ計上シタル政府原案金額ハ歳入參億四百參拾六萬參千九百九拾八圓歳出貳億千

五拾四萬四千參百七拾九圓ナリシニ衆議院ハ之ヲ修正シ歳入ヲ參億四百參拾參萬千九百九拾

八圓歳出貳億千五拾貳萬四千四百參拾六圓トシタリ今其修正金額ヲ細別スルニ左ノ如シ

歳入經常部 貳億九千六百八拾九萬九千七百六拾壹圓

臨時部 七百四拾參萬五千貳百參拾七圓

合計 參億四百參拾參萬參千九百九拾八圓

歳出經常部 壹億七千九百六萬八百貳拾貳圓

臨時部 參千百四拾六萬參千六百拾四圓

合計 貳億千五拾貳萬四千四百參拾六圓

歳入出殘餘額ハ實ニ八千六百參拾七萬四千參百貳拾五圓トス如此キ多額ノ殘餘アル所以ハ煙草專賣益金并ニ前年ニ増加シタル非常特別税金ノ全一年分ヲ收入シタルト及ヒ臨時不急ノ事業ヲ繰延ベ且ツ經常費用ヲ節減シタルトニ依レルモノニシテ本年更ニ増加シタル非常特別税金ハ之ヲ茲ニ算入セズ若シ併セテ計上スルトキハ更ニ一層多額ナル殘餘ヲ生ズルモノトス

一 明治三十八年度各特別會計歲入歲出總豫算案

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一 明治三十八年度歲入歲出總豫算案追加案

本案ニ計上スル金高ハ歲入八千貳百七拾貳萬六千七百七拾九圓ニシテ今回新ニ増加シタル各種増稅并ニ鹽專賣益金ナリシガ衆議院ハ非常特別稅法改正案政府原案ヲ修正シタル結果トシテ七千四百拾貳萬八千七百九拾九圓ト修正シタリ歲出ハ合計貳億六百萬圓ナリシガ衆議院ハ歲入ヲ修正シタル爲メ之ヲ修正シテ壹億九千九百萬圓トス即チ一般歲出入差引殘額及ヒ本案歲入ニテ之ニ充ツルモノナリ其各款別ハ左ノ如シ

大藏省所管第九款臨時軍事費特別會計歳入壹億千九百萬圓
同第十款臨時事件豫備費八千萬圓
合計壹億九千九百萬圓

一 臨時軍事費豫算追加案

本案ニ計上スル金高ハ七億萬圓ニシテ其各目金高ハ明治三十八年度歲入歲出總豫算案追加案修正ノ結果トシテ相互ニ増減シタリ即チ第一目公債及國庫債券募集并一時借入金五億七千萬圓第二目一般會計歳入壹億千九百萬圓第三目特別會計資金繰替八百萬圓第四目軍資獻納金百五拾萬圓第五目雜收入五拾萬圓ナリトス

一 明治三十七年歲入歲出總豫算追加案

此案ハ外務內務大藏文部農商務各省ニ關スル所ノモノニシテ前年度追加案ナリトス歲出總額ハ八百九拾五萬參千七百八拾圓ニシテ歲入ハ樟腦專賣ニ依リ收入スル所ノモノ他一件凡ソ百四拾四萬參千六拾五圓ニ過キズ其ノ不足額ハ之ヲ歲計剩餘ニテ補充スル答ナリ

一 明治三十七年度各特別會計歲入歲出總豫算追加案特第一號

一 同特第二號

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號

一 同追第二號

一 明治三十八年度歲入歲出豫算追加案第二號

此案ハ歲入百參拾參萬參千九百九拾貳圓ト爲ス實用新案法ノ爲メ印紙收入ノ増加スヘキモノ參萬九千九百參拾參圓ト及ヒ前年度歳入金ニシテ歲出ハ蠲病豫防法古社寺保存法海軍工廠資金會計法實用新案法ノ爲メニ要スル經費ニ充テ金額ハ百四拾六萬四千四百拾貳圓ナリシガ衆議院ハ之ヲ百四拾四萬九千四百拾貳圓ト修正シタリ

一 明治三十八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案特第一號

政府提出案十四件ヲ事後承諾ヲ求ムルノ案トス即チ

一 明治三十七年勅令第七十七號

是レ同年六月二十七日外國ニ於テノ流通スル硬貨紙幣銀行券帝國發行證券ノ偽造變造ノ取締ニ關シ發布シタルモノナリ

一 明治三十七年勅令第二百十二號

是レ同年九月二十八日ノ發布ニシテ徵兵令ノ改正ニ係ルモノノ戰時多數ノ兵員ヲ要スルニ於テ亦タ止ムヲ得サル處置ナリトス

一 明治三十七年勅令第二百二十五號

是レ同年十月二十五日停處處罰ニ關シテ發布シタルモノ

一 明治三十七年勅令第二百二十八號

是レ同年十一月十日公債募集ニ關シテ發布シタルモノ

一 明治三十五年度豫備金支出ノ件

一 同豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一 同特別會計豫備金支出ノ件

一 同特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

一 同清國事件第二豫備金支出ノ件

一 明治三十六年度豫備金支出ノ件

一 同豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一 同特別會計豫備金支出ノ件

一 同特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一 同清國事件第二豫備金支出ノ件

以上各豫算事後承諾ヲ求ムルモノニ就テハ明治三十六年度豫備金支出中文部省所管臨時教科書編纂費同特別會計豫備金支出中内務省基隆築港維持費ニ限リ之ヲ承諾セサルモノト決シタリ

政府提出案六十三件ヲ法律案トス内一件撤回殘餘六十二件ハ可決シタリ即チ

一 臨時事件費支辨ニ關スル法律案

此案ハ前期議會ノ法案ト同種ニシテ一時借入金國庫債券及公債ノ額ハ政府案之ヲ四億五千萬圓トシタレトモ臨時軍事費豫算追加案衆議院ニテ修正ノ結果トシテ五億七千百萬圓ト修正シタリ

一 非常特別稅法中改正法律案

是レ亦前期議會ノ非常特別稅法ヲ改正シ一層稅率ヲ引上ゲタルモノニシテ明治三十八年度歲入歲出豫算追加案ノ歲入ハ之ニ依ツテ増徴スルノ金高ニシテ戰役ノ永續スルノ今日ニ於テハ實ニ己ヲ得サルモノトス

一 司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

一 古物商取締法中改正法律案

一 質屋取締法中改正法律案

一 砂糖消費稅法中改正法律案

一 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

- 一 巡查看守退隱料及遺族扶助法中改正法律案
- 一 耕地整理法中改正法律案
- 一 國庫證券價格計算ニ關スル法律案
- 一 登録稅法中改正法律案
- 一 戶主ニ非サルモノ爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案
- 一 蠶病豫防法案
- 一 賣藥稅法案
- 一 所得稅法中改正法律案
- 一 鑛業法案
- 一 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案
- 一 船舶職員法中改正法律案
- 一 船舶法中改正法律案
- 一 遠洋漁業獎勵法改正法律案
- 一 鹽專賣法案
- 一 相續稅法案
- 一 酒造稅法中改正法律案

- 一 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案
- 一 麥酒稅法中改正法律案
- 一 登録稅法中改正法律案
- 一 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案
- 一 酒母醪及麴取締法案
- 一 酒造組合法案
- 一 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案
- 一 海軍工廠資金會計法案
- 一 古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法案
- 一 在外帝國專管居留地特別會計法中改正法律案
- 一 煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案
- 一 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案
- 一 日本興業銀行法中改正法律案
- 一 外國裁判所ノ囑托ニ因ル共助法案
- 一 郵便貯金法案
- 一 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案

本案ハ國務調査ニ關スルモノニシテ目下ノ時局ノ爲メ實行ヲ延期セント欲スルモノ
一實用新案法案

本案ハ商標登錄意匠特許專賣特許ニ加フルニ新案ノ保護ヲ爲サント欲スルモノ

一北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法案

本案ハ北海道鐵道部ヲ鐵道作業局ニ合セタルニ因リ提出シタルモノ

一國庫證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

一地租條例中改正法律案

本案ハ地租ノ免除ニ關スル法規ヲ整理シ且ツ所有者又ハ買取主ノ外ニ長期ノ地上權者ヲ納稅義務アリトスルノ規定ヲ設ケタルモノ

一罹災救助基金法中改正法律案

一北海道罹災救助基金法案

一北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムルノ法律案

一不動産登記法中改正法律案

一市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖繩縣ノ配賦金及配當金ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案

一明治三十五年法律第二十九號中改正法律案

本案ハ臺灣在動ノ陸軍監獄看守及陸軍警手ノ退職料及遺族扶助料ヲ巡查看守ト同様ニシタルモノ

一裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

一國稅徵收法中改正法律案

一北海道拓殖銀行法中改正法律案

一明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

本案ハ臺灣ニ我カ憲法ヲ施行セザルニ關シタルモノニシテ其ノ期限ハ已ニ經過シタリト雖モ時局克復マテ之ヲ延期セント欲スルモノ

一日本勸業銀行法中改正法律案

一外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案

一居留民團法案

一明治三十年法律第十三號中改正法律案

本案ハ在郷軍人召集諸費支出方ニ付海軍モ亦々陸軍ト同様ニ爲シタルモノ

一醫師免許規則中改正法律案

一擔保附社債依托法案

會社銀行ノ社債ヲシテ確實ナラシムル爲メ擔保ヲ提供スルニ便ナラシメタルモノ

- 一 鐵道抵當法案
- 一 工場抵當法案
- 一 鑛業抵當法案

以上三案ハ鐵道工場鑛業ヲ抵當トスルニ便ナラシメタルモノニシテ外資輸入ノ點ニ於テ特ニ必要ナリトス

政府提出法律案ノ撤回セラレタルハ藥品營業并藥品取扱規則中改正法律案ナリトス又衆議院議員提出ニシテ成立シタル法律案ハ即チ

- 一 俘虜所罰ニ關スル法律案
- 一 外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案
- 一 裁判所構成法中改正法律案

是レ區裁判所ノ權限ヲ擴メタルモノ

- 一 刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案

本案ハ一年以下ノ禁錮ニ處セラレタルモノノ情狀ニ依リ刑ノ執行ヲ猶豫スルコトヲ許シタルモノ

- 一 登録稅法中改正法律案
- 一 傳染病豫防法中改正法律案
- 一 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

終